

誰もが参加できる“市民による市民のための映像祭”

— Tokyo Video Festival for the people —

「東京ビデオフェスティバル 2023」開催決定、作品募集を開始

■プロ・アマ不問、ジャンル／テーマ自由、20分以内のオリジナル作品を募集（締切：11月30日<sup>※1</sup>）

■全応募作品をWeb公開<sup>※2</sup>！全ての作者が映像ファンに作品をアピールできるオープンな映像祭

■グランプリの「ビデオ大賞」は「TVF2023 フォーラム」（2023年3月中旬開催予定）で行う公開審査にて決定

■審査委員：映画評論家・村山匡一郎氏、ビデオ作家・津野敬子氏、代表理事・小林はくどう、理事・佐藤博昭

特定非営利活動（NPO）法人市民がつくるTVF（代表理事：小林はくどう）は、誰もが参加できる“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2023」（TVF2023）の開催を決定し、2022年6月1日より、作品募集を開始します。（募集締切：2022年11月30日<sup>※1</sup>）。

「皆が語り合える社会、それが映像の役割だ！」をコンセプトに、生きる元気が湧いてくる作品、社会に訴える作品、自分の思いを語る作品、表現力に挑んだ作品など、力作をお待ちします。

※1：「東京ビデオフェスティバル」では、映像作品を通年で募集しています。「TVF2023」の締め切り後（2022年12月1日以降）に応募された作品は、次回の「東京ビデオフェスティバル 2024」（TVF2024）へのエントリーとなります。

＜「東京ビデオフェスティバル 2023」（TVF2023）の特徴＞

1. **プロ・アマ不問、作品ジャンル／テーマ自由、20分以内のオリジナル作品を募集（締切：11月30日<sup>※1</sup>）**  
作品は、年齢・性別、プロ・アマ、国内外を問わず、幅広く募集します。20分以内のオリジナル映像作品であれば、ジャンル／テーマ、題材は自由。“誰もが参加できる映像祭”です。

2. **全応募作品をWeb公開<sup>※2</sup>！全ての作者が映像ファンに作品をアピールできるオープンな映像祭**  
オープンな映像祭である「TVF2023」では、応募作品は全てWeb公開<sup>※2</sup>します。Web公開中の応募作品は、当NPO法人の公式ホームページから視聴可能（予定）。全ての作者が、自分の作品を、あまたの映像ファンにアピールできる機会です。

※2：TVF事務局がWeb公開に適さないと判断した場合は非公開とし、エントリーを拒否もしくは取り消すことがあります。

3. **グランプリの「ビデオ大賞」は「TVF2023 フォーラム」（2023年3月中旬開催予定）で行う公開審査にて決定**  
今開催を象徴する作品に贈られるグランプリ「ビデオ大賞」（1作品。「TVF2023 アワード<sup>※3</sup>」から選出）は、2023年3月中旬に開催予定の「TVF2023 フォーラム」の当日、入賞者や映像ファンが集う会場にて、審査委員による公開審査で決定し、発表・上映・表彰する予定です。

※3：「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から複数、選出されます。選出数は未定。応募状況に応じて決定します。

#### 4. 審査委員：映画評論家・村山匡一郎氏、ビデオ作家・津野敬子氏、代表理事・小林はくどう、理事・佐藤博昭

審査委員会は、米ニューヨークでビデオ作家および非営利組織 DCTV の共同代表として活躍されている津野敬子氏を前回に続いて起用し、映画評論家の村山匡一郎氏、当 NPO 法人代表理事・小林はくどう、同理事・佐藤博昭の 4 名で組織します。「TVF2023 フォーラム」にて行われる公開審査（上述）やトークフォーラムを通じて、「東京ビデオフェスティバル」が誇る審査委員から作品の評価を受けられるチャンスです。

#### 5. 特別賞として「TVF ジャーナリズム賞」「市民賞」を選出

特別賞（2 部門・各 1 作品）として、「TVF2023 アワード<sup>※3</sup>」受賞作品の中から、TVF ジャーナリズム賞 専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品に贈られる「TVF ジャーナリズム賞」と、Web サイトで公開された全応募作品の中から TVF サポーター会員（賛助会員）<sup>※4</sup>、および「TVF2023」の作品応募者の審査投票によって選出される「市民賞」を設置します。受賞作品は、「TVF2023 フォーラム」の当日、発表します。

※4：TVF サポーター会員は随時、受け付けています。詳しくは当 NPO 法人ホームページをご参照ください。

#### 6. 好評の個別作品講評を実施！映像制作力・映像表現力アップをサポート（有料）

これまで好評いただいている個別作品講評（有料・1 作品につき 3,000 円〈税込〉<sup>※5</sup>）を実施。希望者を対象に受け付け、映像制作力や映像表現力のアップをサポートします。応募作品ごと<sup>※6</sup>に評価・コメントを行いますので“あなただけの作品講評”を受けられます。

※5：サポーターは、1 作品のみ無料。

※6：「TVF2023」に応募をせずに、個別作品講評だけを申し込むことも可能です。

#### 7. 新たに「TVF チャンネル」を開局します

「作品がもっとよくなるアドバイス講座」「40 年の歴史を持つアーカイブス番組」などを提供する「TVF チャンネル (YouTube)」を 2022 年夏に新たに開局します（予定）。作品応募の呼びかけにとどまらず、TVF の魅力を幅広く知っていただくための視聴者を増やす活動にも取り組みます。

詳細は、公式ホームページ（NPO ホームページ）をご参照ください。

＜「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ（NPO ホームページ）URL＞

<https://tvf2010.org/>

---

#### ■「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50 音順・敬称略）

小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授）

佐藤 博昭（ビデオ作家・武蔵大学 講師）

津野 敬子（ビデオ作家・DCTV 共同代表）

村山 匡一郎（映画評論家）

（アドバイザー）

椎名 誠（作家）

羽仁 進（映画監督）

## ■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（敬称略）

- 神保 哲生（ビデオジャーナリスト）
- 筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員）
- 長野 智子（キャスター）
- 下村 健一（市民メディア アドバイザー・白鷗大学 特任教授）

## ■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」  
「TVF2023 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。
- ・「TVF2023 アワード」  
「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。
- ・「TVF ジャーナリズム賞」  
特別賞。「TVF2023 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。
- ・「市民賞」  
特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2022」の作品応募者の審査投票により選出されます。

## ■「東京ビデオフェスティバル 2023」スケジュール（予定）>

- ・作品募集締切 : 2022年11月30日(水)
- ・「TVF2023 アワード」発表 : 2023年1月
- ・「TVF2023 フォーラム」開催 : 2023年3月中旬
- ・「ビデオ大賞」決定・発表 : 「TVF2023 フォーラム」の公開審査にて
- ・「特別賞」発表 : 「TVF2023 フォーラム」にて

---

## <NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、32 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル (TVF)」(日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

## <東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来、継続開催している映像祭で、今回で通算 45 回目を迎えます。なお、当 NPO 法人の主催となってから 2022 年で 14 回目を迎えます。

### 本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : [npotvinfo@gmail.com](mailto:npotvinfo@gmail.com)

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

**\* 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。**